

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けできない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

「柱1本用コーナー継手」は通常の直線部施工とは柱ピッチが異なります。
柱施工位置とコーナー部の取付けについては本説明書をお読みください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは施工しないでください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 指定寸法は必ず守ってください。強度が低下し、不具合の原因になる場合があります。
- みだりに改造、変更しないでください。強度の低下、及び製品が正しく組付かなくなる場合があります。

お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

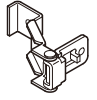



<施工上の注意>

⚠ 注意

- 直線部は柱同梱のフックボルト (L=45)、コーナー部には柱 1 本用コーナー継手セット同梱のフックボルト (L=47) を使用し、フェンス本体を組付けてください。L=45 を誤って組付けた場合、フェンス本体が脱落する可能性があります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は 150mm 以内に施工してください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- コンクリート (またはモルタル) には、塩分を含む砂 (海砂) および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤 (凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など) は使用しないでください。使用すると金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- フェンス本体には上下があります。上下を間違えて組付けると強度が低下します。
- 柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

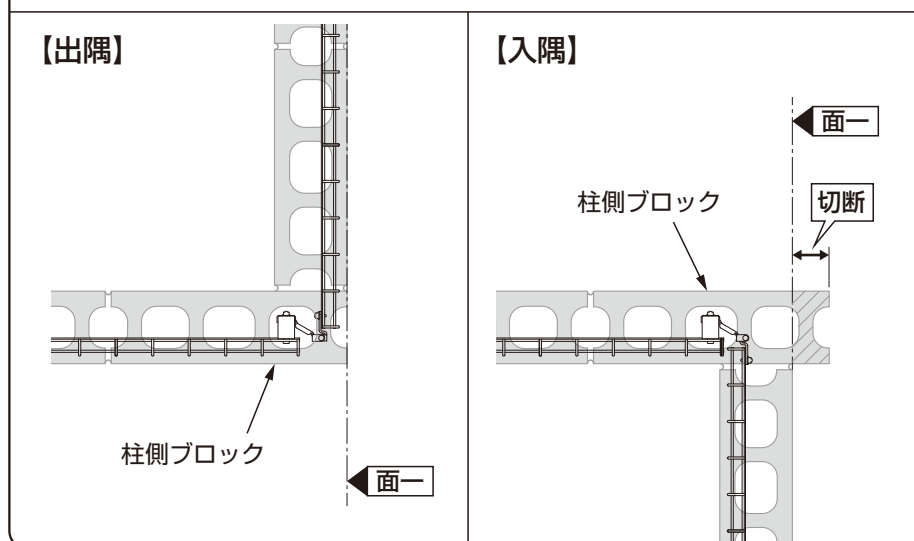
■梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

【1】柱 1 本用コーナー継手セット		
名称	略図	員数
柱 1 本用コーナー継手		2
【1-1】 M5 フックボルト (コーナー部専用)		2
【1-2】 M5 フックボルト S		2
【1-3】 M5 フランジ付六角ナット		4
取付説明書 (C451)	—	1

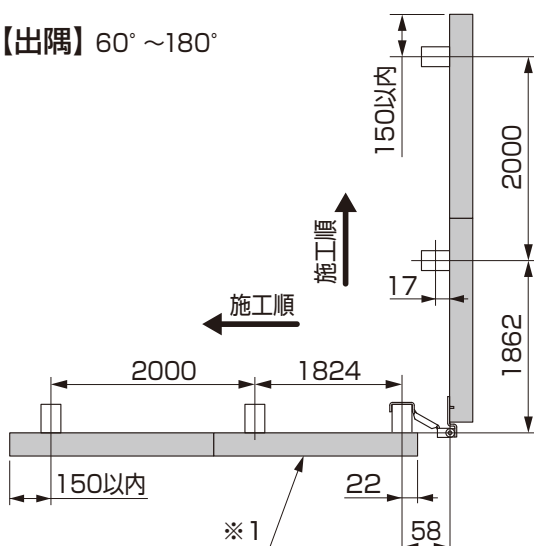
■ブロック施工納まり ※ブロック施工納まりの場合に、参照してください。

※下図と基本寸法図を参照してコーナー部のブロックを施工してください。



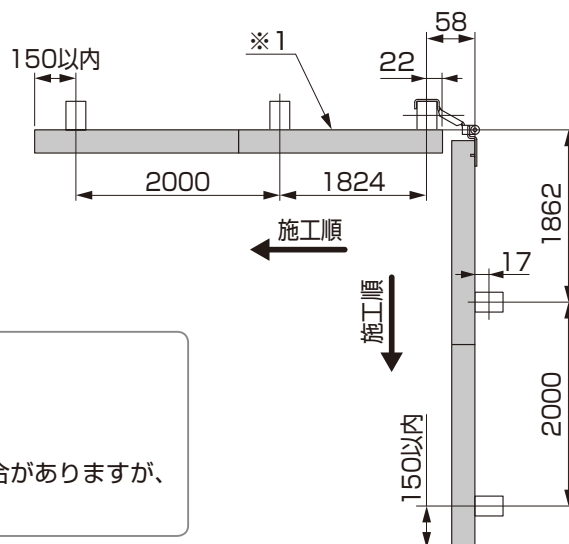
■基本寸法図

【出隅】 60° ~ 180°



記載以外の寸法については、フェンス本体の取付説明書を参照してください。

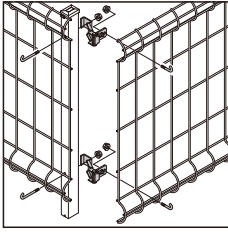
【入隅】 180° ~ 280°



🔑 ポイント

- コーナー部のフェンスから施工してください。(※ 1)
- コーナー対応角度：60° ~ 280°
- 本図は代表例です。
- 納まりによって、コーナー継手の上下を逆向きに取付ける場合がありますが、強度的には問題ありません。

■コーナー部の取付け



- ①基本寸法図で寸法を確認し、柱を立ててください。
- ②コーナー部の【柱側】は、【1-1】 M5 フックボルト先端にコーナー継手を差込み、【1-3】 M5 フランジ付六角ナットで締めつけてフェンス本体を固定してください。
- ③コーナー部の【回転側】は、【1-2】 M5 フックボルト S と【1-3】 M5 フランジ付六角ナットでフェンスを固定してください。

⚠ 注意

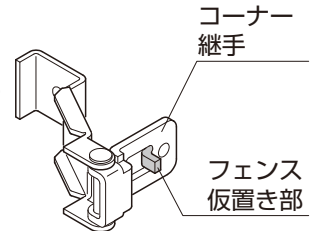
【柱を設置するとき】

- 各柱のレベルを水平にそろえて建ててください。水平にそろっていないとフェンスの連結ができなくなる場合があります。
- ※コーナー部は柱 1 本建施工になります。

🔑 ポイント

【フェンスを取付けるとき】

- 柱の仮止めフックとコーナー継手のフェンス仮置き部にフェンス本体を仮置きして、位置を調整してから固定すると正確に施工できます。(下図※1、※2参照)



⚠ 注意

フランジ付六角ナットは締めすぎないようにしてください。締めすぎると柱が変形することがあります。

締めトルク：2～4 N・m {20～40 kgf・cm}

M5フックボルト
(L=45)

※本製品には同梱されていません。

仮止めフック
(※1)

仮止めフック

【1-3】
M5フランジ付六角ナット

フェンス仮置き部
(※2)

【1-1】
M5フックボルト
(L=47)

フェンス本体

【柱側】

【回転側】

コーナー継手

【1-3】
M5フランジ付六角ナット

【1-2】
M5フックボルト S

M5フックボルト
(L=45)

※本製品には同梱されていません。

【1-1】
M5フックボルト
(L=47)

柱

水抜き穴

⚠ 注意

フェンスには上下があります。【下側】必ず上下を正しく取付けてください。上下を間違えて組付けると強度が低下します。

【上側】

横筋
4本

横筋
3本

⚠ 注意

フックボルトは、柱1本用コーナー継手に同梱されているL=47を使用してください。誤って組付けた場合、フェンス本体が脱落する可能性があります。

✎ 補足

フックボルトでフェンス本体を固定すると、フェンス本体が柱の仮止めフックから若干浮いたようになりますが、強度的には問題ありません。



以降は、フェンス本体の取付説明書を参照して、フェンスを連結してください。

